



射水市立小杉中学校ボランティア活動報告

前期ボランティア委員 活動内容

【コンタクトケース回収プラス(2ヶ月に一度)】

全校生徒がボランティア活動に参加できるよう、昨年度から継続中のコンタクトケースの回収に加えて、ベルマークの回収も行いました。より多くの方に参加してもらうことができました。

【ミニボランティア day(6月・9月)】

ゴミ拾いなど日常生活の手伝いもボランティアと捉え、ちょっとして活動に意識して取り組んでもらいました。自分の行動を振り返ることで、ボランティアをより身近に感じてもらうことができました。一つ一つのボランティアが温かく、思いやりのある学校づくりにつながったと思います。

【知って取り組もう、SDGs活動(7月)】

委員でSDGsの目標や現状について調べたことをポスターにまとめました。SDGs17のゴールに関する掲示が壁を飾り、全校生徒に広く関心をもってもらうことができました。

前期ボランティア委員長 渡邊 結衣

後期ボランティア委員 活動内容

【心のとも運動(10月)】

消しゴムやボールペン等、生徒や職員、多くの方に文房具を購入してもらうことができました。

【Happy Smile 活動(11月)】

地域や学校等、身の回りで発見したSDGsの取り組みを参考にして、自分で取り組むことのできる行動をそれぞれが考え実践しました。

【クラスでSDGsチャレンジ(2月)】

SDGsに関する身近な活動を紹介し、クラス全体で挑戦してもらいました。「残食ゼロを目指そう」「授業中に積極的に発言しよう」等)目標を共有することで、クラスで一体感をもって取り組むことができました。

【コンタクトケース回収(2ヶ月に1度)】

常設しているコンタクトケース回収ボックスを2つに分け、SDGsに関する2択クイズを実施しました。「くら寿司で実施しているSDGsはどっち?」「SDGsの評価が高いのはスタバ?イオン?」等)クイズ形式にしてケースを回収することで楽しく活動に参加してもらうことができました。

後期ボランティア委員長 藤岡 芹奈

多くの生徒が、積極的にベルマークを集めてくれたり、心のとも運動で文房具を買ってくれたりして、ボランティア委員の活動に「少しでも協力しよう」という気持ちが伝わってきて嬉しかったです。前期、後期を等して様々な活動に取り組むことができました。今年度実施した活動から学んだことを活かして、小杉中学校がもっとボランティア精神であふれる学校になってほしいと思いました。

